



## 保護者の皆様、

いつも保護者アンケートのためにお時間をとつてご回答いただき、誠にありがとうございました。

ご意見にも一つ一つ目を通して、教職員一同で参考にさせていただき、保育や園の運営の改善につなげるべく検討しております。今回は、主に次のようなご意見をいただきました。

- ・就学時までに何をどこまでできるようになつていればいいのか知りたい。
- ・行事の告知や中止・原則のお知らせにプロダクションペーパーを活用してはどうか。
- ・バザー中止についても給食と同様、全保護者にアンケートをとるべきだったのではないか。
- ・給食試食会を親子で一緒に行えないか。
- ・クラスによって同じ手紙が配られないことがある。
- ・発達障害について知つてもらいう機会をつくつほしい。
- ・アンケートの解答欄に改善策や要望を書き欄がほしい。
- ・ひらがなや数字の勉強も始めてどうか。
- ・お泊まり保育にも参加でき、本人の自信につながった。先生方の暖かさが伝わってくる。
- ・教育方針には好感がもてるし、子どもも楽しく通っている。
- ・環境がよく、いつもきれいに整備されていて、子どもも親も嬉しい。また帰きそばページなどを企画してほしい。
- ・預かり保育のおやつが気になつた。有寄な食品添加物について勉強する会などがあるといい。
- ・みふじ幼稚園の卒園式は多才クリエイティブだと感じると言われた。これからを楽しみにしている。
- ・常に考えることを怠らない幼稚園の姿勢を賞賛している。考え方持かれ手をかけられた丁寧な保育で、お誕生会の手作りのカードは心温まる慈愛らしいものだった。
- ・お着替えの際やトイレに失敗したときに洗濯してもらつてありがたい。
- ・親子レクのおやつに不安全を覚えた。
- ・4月の家庭訪問の時期に、保育時間が短くなることは事前に知らされていなかつた。
- ・「祖父母の会」の招待状は1通しかなく、両家の間に渡せないという声がある。
- ・幼稚園と地域の交流を深める行事や情報発信には協力したい。
- ・芸術センターのピアノや絵画教室が引き続きあるといいと思う。
- ・冬場には運動会後もかけっこやつぼうなど、身体を動かす遊びを取り入れてはどうか。
- ・朝のバスの時間がとても楽しい雰囲気。これからも安全運転で頑張ってほしい。
- ・地域の施設同士の交流や情報交換は、子どもが落ち着いて過ごすためにも有益と感じる。
- ・みふじのつどいなど午後から始まる行事は、上の子が小学校に入つてからはお迎えが間に合わなくなつた。午前中にしてもらえると助かる。
- ・玄関の壁に剪定はさみがかかっていて、何かの拍子に落ちると危険と心配。
- ・毎月のえんだより付録から園長のメッセージがよく伝わってくる。これからも続けてほしい。
- ・幼稚園でも公立保育園と同様の補助金によって加配が可能になるといふと思う。
- ・えんだよりやクラスだよりも追加料金を取るなど追徴するなど保護者への発信がお美しさほしい。
- ・年度末に絵画など個人の作品の持ち帰りがあると子どもの成長の記念になると思う。
- ・夏期、冬期の預かり保育の日数をふやしてほしい。

お褒めや励ましの言葉も、率直なご指摘やご批判も、幼稚園にとってはすべて貴重な「改善への糧」となります。具体的な保育内容やお子様に觸れる個人的なご相談は、どうぞお気軽にお伝えください。

ここでは①「バザーの中止にして全保護者にアンケートを取るべきだったのではないか」②「預かり保育のおやつ」③「ひらがな、数字の学習」④「祖父母の会の招待状」⑤「年度末の作品の持ち帰り」のご質問にお答えしておきたいと思います。

①バザー中止に関しては、これまでお伝えしてきましたように、当初は大規模修繕工事を予定していたため、日程の都合からバザーの中止が決定していました。ところがこの大規模工事が中止になつたことから、バザーをどうするかを改めて保護者会の役員会で話し合い、そこで多数意見により中止が決定しました。その経緯はこれまで何度も何度もご報告した通りですが、保護者の皆様は本当に「保護者の代表」であるということです。役員会に出席するクラス役員の皆様は本当に「保護者の意見」だけで保護者会の決定はそれだけ重みをもつていて、幼稚園の思いだけでは保護者全員の意見を確認することは、その決定を輕んずることになります。もちろん、役員会で「この事情は本当に重大なので保護者全員の意見を聞くべきだ」ということになりかねません。それを受けた上で出たご意見を取り上げ、幼稚園としての方針を決定するうえでは保護者の皆様のお考えをアンケートという形でお尋ねする必要がありました。

②「預かり保育のおやつ」についてですが、これはご指摘を受けて、おやつを購入する際に今まで以上に注意を払いたいと思います。ただ、何を危険と見なすかということは、以前も「えんだより付録」で書きましたが、さまざまな立場があります。遺伝子組み換え食品一つをとっても「科学的根拠」とされる立場が一つではなく、複数存在するのです。したがつて、幼稚園としては「楽しく安全に食べられること」を基準として、その「安全」についてはさまざまな情報をあり、その程度「最大公約数」を採用していくことがあります。

しかし、その過程で、保護者の皆様から率直なご意見や情報を寄せていたくだくことが助けになります。

③「ひらがな、数字の学習」については、年長児から週一回の授業の日に行なっています。クラス会などでは折り込みでお話ししているのですが、保護者の方々に十分に伝わってないのであれば申し訳ありません。これもホームページ等でも取り上げていきたいと思います。

④「祖父母の会の招待状」については、各ご家庭にそれぞれの事情がありますので、幼稚園の方から両家のご招待状を用意することは差し控えたいと思います。ただし、必要な場合は言つていただければご招待状をもう一部お渡しできますので、どうぞお知らせください。

⑤「年度末の作品の持ち帰り」についてですが、大概の作品はその都度持ち帰つております。幼稚園からの作品は幼稚園制で3年分を揃えて卒園時にお渡ししています。この理由は絵の形お絵かきの作品が見られることと、そして絵は聞じにくいで園側でまとめた方がご家庭にとても保存しやすいだろうという考え方からです。もし個別のご希望がありましたら、どうぞお気軽に担任にお声がけください。

以上、ご理解いただければ幸いです。